市報
とおかまち
2 February
196号
編集発行／十日町市役所（電話(0)7-3111）毎月15日／昭和32年6月5日第3種郵便認可（1部6円）

人口
男 24,103
女 26,938
計 50,141
世帯数 11,122

税金の申告時期になりました

税金は道路、学校、保育所などの公共施設や私たちの健康や生活を守る社会保障など、国や地方公共団体が行なう活動のための大切な財源となっております。税の申告は出生、死亡、婚姻等の届出と同じく国民の大切な手続きのひとつです。正しい申告をお願いします。

市民税の申告は三月十五日までに

例年のことながら申告書の用紙と記載要領は市政事務嘱託員もとに届くよう配布する予定です。お間違いのないよう記載し、申告してください。申告書は市税務課または、嘱託員に提出してください。くわしいことは税務課（☎七―三一一一番）へお問い合わせください。

申告納税相談風景（十日町税務署で）

申告をしなくてもよい人

◇昭和四十七年分の所得税について確定申告をする方。
◇昭和四十八年一月一日現在給与の支払いを受けている方で昭和四十七年中給与所得以外に所得のなかった方。
◇事業専従者で昭和四十七年中に専従控除にかかる給与収入しかない方（農業専従期間外等に日雇賃金等のある方を除きます）。

所得税の申告と納税は三月十五日までに

所得税の申告と納税は二月十六日から三月十五日までです。申告書を書くときは、あらかじめ税務署から配布された「所得税の確定申告の手引き」「申告書の書きかた」などを参考としてお間違いのないよう記載してください。

所得税の延納を希望されるときは、第三期分税額の半分以上を三月十五日までに納めてください。残りは五月三十一日までに納付すればよいことになっています。おわかりにならないことは十日町税務署に相談してください。

○ とじて保存しておいてください ○
市報とおかまちは表紙と市役所を結びかけ橋です

白鳥の親子がやってきた

2年続きの暖冬にのどかに遊んでいる白鳥。昨年につづいて浅ヶ原貯水池で白鳥の親子が元気に泳ぎまわっています。昨年4羽の白鳥が、ことしは1羽仲間を加え、5羽でやってきました。

吉田公民館では、毎年白鳥がやってくるよう、えさをあげていますが、えさが不足がち。白鳥はほした茶がらやシイナが大好物、みなさんのご協力を望んでいます。

青少年対策実施計画まとまる

十日町地域広域市町村圏協議会で

十日町地域広域市町村圏協議会（十日町市、川西町、中里村津南町の一市二町一村）では、郡市内の青少年問題に積極的に取り組もうと、このほど青少年対策実施計画をまとめました。

この実施計画は青少年の非行化防止対策と青少年対策の二つからなっています。

基本的目標

あくまで青少年の健全育成を第一の目標とし、青少年対策はつぎの四つを柱に青少年総合対策の連絡調整につとめるものとしています。

①青少年の利用する施設の健全な利用運営
②青少年活動に対する諸団体の育成促進
③青少年教育指導者の拡充と育成
④企業体関係との連けい強化

第一回広域青少年対策推進会議

練習にはげむ豆剣士たち（柔剣道場で）

青少年非行化防止対策及び広域青少年対策

社会環境の整備と青少年非行化防止などについて圏域内市町村で連絡調整を行なうものとし青少年補導問題研究協議会、青少年補導員連絡協議会青少年育成連絡調整会議を通じ活動することにしています。

身障者などお困りの方はどうぞ

つぎの方々が身体に障害のある人達の更生援護の相談に応じますので、お困りの方はお気軽にご相談ください。

身体障害者相談員 延野国吉（高田町三南）☎七―四〇七八上村正平（土市）☎八―二一三七佐藤庄策（新光寺）☎五―二二九三 太田健一（南鍛冶）☎七―四九一〇有放九―二一九一〇
精神薄弱者相談員 保坂辰平（姿）有放四七七一一池田清（中条公民館内）☎二―二七四八。

昭和四十八年度市奨学生募集

市教育委員会では、昭和四十八年度市奨学金貸与希望者をつぎのとおり募集します。

応募方法は、市教育委員会、市内各中学校、高等学校にお問い合わせください。

応募資格者は、市内に三年以上居住している世帯の子弟で、学業成績が優秀かつ経済的理由により、学資の支弁が困難なものに限ります。

なお貸与の対象は、高等学校及び高等専門学校（貸与月額三千円）短大及び大学（貸与月額六千円）に在学中または進学希望者です。

募集しめきりは昭和四十八年二月二十八日ですので希望者は市教育委員会にお申し込みください。

災害にご注意

暖冬による雪や雨の影響から災害の発生のおそれがあります。家族で災害予防について話し合い、災害を未然に防ぎましょう。

一、地すべりや崖くずれが発生する兆候として、つぎのような現象がおこります。

ア、地下に住む小動物が家屋内にはい上る。
イ、井戸水、湧き水、溜池などの水が急にかれる。
ウ、水田の水保ちが悪くなる。
エ、木の根がさける。
オ、地すべり凹地の上方の急傾斜地面に亀裂が生ずる。
カ、地鳴、家鳴が聞える。
キ、地すべりがおこる数日前、山肌の岩石がボロボロ崩れ落ちる。

以上のような兆候または災害のおそれのある異状な現象を発見したときは、つぎの要領で急報してください。

発見者	市政事務嘱託員	災害のおこるおそれのあるとき	緊急を要するとき
①	② か 消防団員	③ 役所 市 ☎ 7-3111 平日 53713 休日・夜 53414（有放）	消防署 ☎ 119 （有放）53119

②に通報できないとき

盛況だった雪まつり

第二十四回雪まつりは去る十日、十一日の両日行なわれ、メーンの雪上カーニバル、雪の芸術作品、ふるさとひろばのほか盛りだくさんの協賛行事に遠来のお客や地元市民がドットおしよせました。雪の芸術作品は暖冬少雪にもかかわらず市民各位のご協力により、十八の作品と七つの学童作品が製作され、見物客を楽しませました。

県立高田盲学校で生徒募集

募集対象は矯正視力〇・三未満の視力の者。詳しくは上越市寺町二丁目、県立高田盲学校へ。

ちょっとお耳を

郵便受箱を一個七〇〇円で郵便局では、あっせんしています。ご希望の方はお知らせください。すぐお届けします。

（十日町郵便局）

老人・幼児の死亡事故が増加
47年交通事故発生状況の分析

市環境開発課はこのほど昭和四十七年交通事故発生状況をまとめました。（別表）

昭和四十七年中の市内の交通事故状況は前年比件数、負傷者とも若干増加しましたが、死者で三名減となりました。

事故の特徴は

□死亡事故七件のうち六十歳以上の老人四名、幼児一名となり、弱い立場の者の犠牲が多かった。

□道路別では、国道一一七号線が五十四パーセントを占め、国道二五三号線十四パーセント、市道二十二パーセント（特に本町西線、市役所前通りが多い）県道八パーセントとなっております。

□年令別では二十四歳以下による事故発生が五十八パーセントで死傷者の数も二十四歳以下が五十七パーセントを占めています。

□原因別では運転者でわき見、スピードの出しすぎ、酒よい追越し不適当となっており歩行者では車の直前直後の横断、とび出し等となっています。

区分	47年	46年	増減数
件数 件	214	205	＋ 9
死者 人	7	10	－ 3
負傷者 人	259	250	＋ 9

国民年金特別融資等きまる

今年度の起債計画のうち国民年金特別融資、厚生年金還元融資、簡易保険積立融資が、それぞれつぎのように決定しました。これらの融資はみなさんが納入された保険料を国が財政投融資として計画的に運用しているものであり、地方公共団体にも各種建設事業の融資として還元されているものです

【十日町市分】

◎国民年金特別融資

老人いこいの家建設事業六百五十万円

下条地区簡易水道改良事業五百万円

◎厚生年金還元融資

じん芥収集車購入事業（二台）　百四十万円

◎簡易保険積立融資

都市計画事業　千七十万円

東小学校新築事業　千七百二十万円

真田小学校改築事業　九百八十万円

公営住宅黒沢団地建設事業　二百万円

【十日町地域広域事務組合分】

◎国民年金特別融資

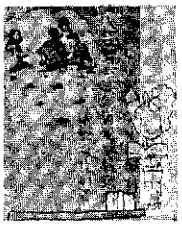
十日町地域総合福祉センター建設事業　三千万円

◎厚生年金還元融資

十日町地域広域と畜場建設事業　二千七百万円

下条中トリオが初優勝

下条中学校女子チームは、このほど妙高池ノ平で開かれた第三回新潟県中学総合体育大会兼新潟県中学校スキー大会で初優勝を飾りました。この女子チームは小林静子、村山ちずえ、生越敬子の三選手で好タイムで初優勝したもの。



◆冬は体のあたたまる食事を。油っこいものをたっぷり新鮮な野菜と果物を多くとる

◆疲労を防ごう。十分な睡眠、栄養、休養をとるように心がける。

◆ウガイをしよう。

◆気温の変化に気をつけよう。汗のあと始末はいいかげんにしないこと。

◆ガス中毒に気をつけよう。

◆部屋の空気を入れかえよう。

下条地区に除鉄装置完成

市では総工費776万円をかけ、下条地区簡易水道に除鉄装置を設置しました。装置は高さ4㍍の円筒のもので飲料水用の濾過装置としては市内初めてのものです。この装置についてはすでに検査をすませ48時間の試運転の結果、これまでの0.3ＰＰｍが0.05ＰＰｍまで下がり普通飲料水とほとんど変らないほどにまで完全に濾過することができました。下条地区では現在590世帯でこの水を使っており、今後は赤く変色する心配がない水に生まれかわりました。

2月休日救急医

18日　至誠堂医院　（西蒲東）　☎2—3276番

25日　十日町病院（高田町3南）☎2—3161番

戦没者遺族の特別弔慰金支給範囲が拡大

つぎに該当する遺族の方は、市社会福祉事務所へ請求してください。

□昭和16年12月8日以降に戦没した人の遺族で遺族年金、公務扶助料などを受けていた人が昭和40年4月1日から昭和47年3月31日までに死亡してだれも受ける人がいない人。

□昭和40年4月2日から昭和47年4月1日までに援護法による弔慰金を受給したが、昭和47年4月1日現在だれも遺族年金、公務扶助料などを受ける遺族がいない人。

新潟県後保護指導所入所生募集

この施設は内部障害者の健康管理と更生に必要な職業指導を行なうところです。

入所資格　入院等により重点治療の必要のなくなった方で、心臓、腎臓、呼吸器、機能障害者。

入所時期　4月と10月ですが、随時入所もできます（入所期間1年間）

入所費用　生活困窮者は身体障害福祉法により無料。そのほか負担能力に応じて食費の実費負担もありますが、日用経費5,700円、更生訓練費1,500円が支給されます。

指導科目　洋裁編物科、経理簿記科、孔版タイプ科、電気科

その他くわしいことは、市社会福祉事務所（☎7—3111）へお問い合わせください。

環境週間の標語の募集

環境庁は、当面問題となっている公害防止、自然環境の保全についての意義を広く普及することをねらいとし、このほど「環境週間」にちなんだ標語を募集します。

1. 主題　公害の防止、自然環境の保護などの意義を強調したもの。
2. 応募方法　官製はがき一枚に一標語とし、住所、郵便番号、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記してください。
3. 送り先　東京都千代田区霞ケ関三ノ一ノ一（郵便番号100）環境庁広報室
4. 締切　昭和48年2月28日（当日消印有効）

歳末たすけ合いに寄付

内藤直義（小田原から）　1,000円

飯林農物産株社員一同　23,286円

匿名（五軒新田）　2,050円

信用組合十日町支店諸川史俊　500円

常角熊吉（魚ノ田川）　2,000円

上新田簡易保険組合　代表近藤静江　5,000円

立正佼成会十日町支部　40,426円

庭野みよの（昭和町1）　2,000円

水落賀一（ニタ子）　1,160円

ライオンズクラブ　32,680円

庭野日敬　100,000円

匿名　3,000円

福祉事業寄付

村山勇（十日町小学校）	2,000円
敖石橋カセ	7,000円
十日町シーホースクラブ	10,000円
村山ハル（大黒沢）	1,500円
宮沢清（小黒沢）	1,400円
丸栄会館	50,000円
佐藤洋品店	50,000円

昭和47年度一般会計予算

（47.12.31現在）

歳入　二五億八七七万円（構成比%）

その他（分担金及び負担金含む）	24,890	10%
繰越金	10,133	4%
繰入金	14,085	6%
市債	22,980	9%
国庫支出金	33,299	13%
地方交付税	71,723	29%
市税	73,807	29%

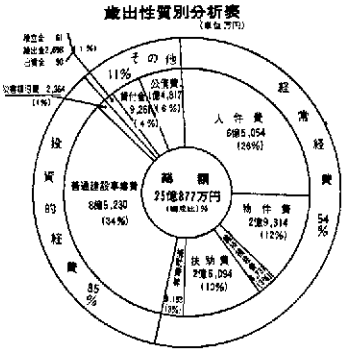
歳出　二五億八七七万円（構成比%）

その他（諸費含む）	18,058	7%
商工費	11,431	5%
公債費	14,818	6%
農林水産費	14,117	6%
衛生費	17,380	7%
総務費	29,107	11%
民生費	42,146	17%
教育費	50,587	20%
土木費	53,233	21%

（単位）

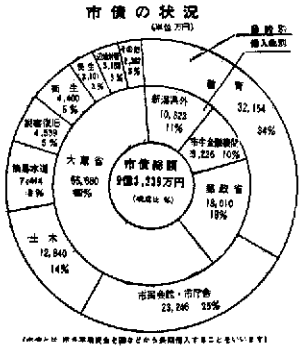
歳出性質別分析表

（単位万円）



市債の状況

（単位万円）



（単位）

一般会計執行状況

（収入総額72%）（執行率66%）

二二億一七七二万円	二五億八七七万円	一八億八五百円	一六億九六二百円
当初予算	十二月末予算	収入済額	支出済額

（告示第1号）

地方自治法第243条の3の規定に基づく「十日町市財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めるところにより昭和47年12月31日現在の本市の財政事情を公表します。

昭和48年2月1日

十日町市長　春日由三

市税の内訳

税目	税額	構成比	市民1人当り	1世帯当り
市町村民税	33,554万円	45%	6,733円	30,702円
固定資産税	25,586	35	5,134	23,411
軽自動車税	1,350	2	271	1,235
市町村たばこ消費税	6,898	9	1,384	6,312
電気ガス税	4,083	6	819	3,736
木材引取税	27	—	5	24
都市計画税	2,309	3	463	2,113
計	73,807	100	14,809	67,533

特別会計予算状況

会計名	予算額
国民健康保険	42,235万円
診療所	4,038
簡易水道	2,608
と畜場（12月末廃止）	98
計	48,979

市有財産の状況

土地	14,808,564㎡
建物	102,246㎡
基金、公社債	6,802万円